

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	管理棟、トイレ、ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	6期目	R5.4.1～R10.3.31	(株) 恐羅漢
	5期目	H30.4.1～R5.3.31	(株) 恐羅漢
	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光 (株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光 (株)

2 施設利用状況

	年度	目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
利用状況	6期 R5	4,200人	4,479人	35人	279人 (106.6%)
	5期平均 H30～R4	3,840人	4,444人	929人	604人 (115.7%)
	4期平均 H25～H29	2,000人	3,515人	1,416人	1,515人 (175.8%)
	2～3期平均 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)	2,000人	2,099人	168人	99人 (105.5%)
	1期平均 H18～H20	—	1,931人	398人	—
	H17 (導入前)	—	1,533人	—	—
増減理由	新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、オートキャンプ場を中心に固定客が戻り始め、目標を達成した。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	利用者 45 件
	【主な意見】	【その対応状況】
	トイレ等の虫の対策をしてほしい。	清掃の徹底や防虫剤の設置などを行った。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議 (随時)	【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策 【指定管理者の意見】 利用者増に向け、利便性の向上や安全で快適に利用できるよう施設の適切な運営や修繕を行う必要がある。 【県の対応】 指定管理者と連携しながら、法面の災害復旧工事や道路の舗装改修工事等を計画的に実施した。	
現地調査 (3月)		

5 県委託料の状況

(単位：千円)

年度	金額		対前年度増減		年度	金額		対前年度増減	
	6期	R5				6期	R5		
5期平均 H30～R4	12,730		3,488		5期平均 H30～R4	5,323		278	
4期平均 H25～H29	9,242		1,324		4期平均 H25～H29	5,045		2,107	
2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)	7,918		126		2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)	2,938		1,671	
1期平均 H18～H20	7,792		△1,955		1期平均 H18～H20	1,267		△106	
H17 (導入前)	9,747		△929		H17 (導入前)	1,373		113	
	10,676		—			1,260		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目	R5 決算額	R4 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入				
	県委託料	12,730	12,901	△171	燃料高騰対策に係る委託料の減
	料金収入(※1)	5,323	6,122	△799	オートキャンプ場の利用減
	その他収入	3,944	2,412	1,532	食材・新規のキャンプ用品の販売・レンタル増
	計(A)	21,997	21,435	562	
	支出				
	人件費	5,208	6,149	△941	臨時職員の減
	光熱水費	12,047	12,122	△75	電気・ガスの使用量の減
	設備等保守点検費	414	414	0	
	清掃・警備費等	26	9	17	
施設維持修繕費	1,158	618	540	園内施設の補修材等の増	
事務局費	576	643	△67	印刷物の縮減による減	
その他	2,207	1,267	940	新規レンタル事業開始による初期購入費用の増	
計(B)	21,636	21,222	414		
収支①(A-B)	361	213	148		
自主事業(※2)	収入(C)	—	—	—	
	支出(D)	—	—	—	
	収支②(C-D)	—	—	—	
合計収支(①+②)	361	213	148		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	オートキャンプ場などの施設運営の他、地元食材をつかったピザづくり体験やアマゴつかみ取りなどのイベントを継続して実施した。	人気のあるキャンプ場運営に加え、自然を活かしたイベントの実施・計画を行い、利用者ニーズに対応している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	県と連携しながら施設の維持修繕を実施した。	利用者が安全で快適に施設を利用できるように取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	安芸太田町や地元企業との連携を図り、各ホームページやSNSを活用して情報発信を行った。とりわけインスタグラムの発信頻度を上げ、キャンプ場利用促進に努めた。	地元と連携した広報活動に取り組み、利用促進に努めている。更新頻度を高めるなど、積極的な活用状況が認められる。
	○施設の維持管理	草刈りの回数を増やし、場内の景観向上に努めた。老朽化した柵や側溝の交換を行い、利用者の安全確保に努めた。	公園の安全対策や魅力を向上させ、快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	利用者数の増減に合わせ、計画的に職員配置を行った。	利用状況に応じて組織体制の見直しを行っている。
	○効率的な業務運営	スケジュールアプリを利用したシフト調整を行うなど、業務の効率化を図るとともに、新規採用者の教育に努めた。	引き続き、効率的な業務運営に努める必要がある。
	○収支の適正	前年度に引き続き、黒字を確保した。	今後も利用促進の運営を行うとともに、収支の適正化を図りながら、黒字運営を継続する必要がある。
総括		利用者ニーズを把握しすぐに対応することで固定客の継続した利用に繋げ目標を達成し、また、新たな利用者呼び込むためのイベントや効果的な情報発信を行った。	魅力的な施設となるよう、利用者ニーズへの対応や新たな取組を行うことで利用者の満足度を高めていることは評価できる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和6年度)	利用者に好評なイベントを引き続き実施するとともに、新規のイベントを企画し、更なるリピーターの獲得を目指す。	施設の魅力を高めるための新たな企画やイベントの実施について支援する。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕について、点検等安全確保に努めるとともに、県と協議しながら計画的な修繕を行う。	指定管理者と連携し、優先度の高い箇所から計画的に施設の維持・修繕に対応する。